

JEPLAN グループ：

ペトリファインテクノロジーが、東京都 墨田区及びアサヒ飲料の 3 者で ペットボトルの水平リサイクルの実施に関する協定を締結

株式会社 JEPLAN（代表取締役 執行役員社長：高尾 正樹、以下「JEPLAN」）のグループ会社であるペトリファインテクノロジー株式会社（代表取締役社長：伊賀 大悟、以下「ペトリファインテクノロジー」）は、東京都墨田区（区長：山本 亨）、アサヒ飲料株式会社（代表取締役社長：米女 太一）とともに使用済み PET ボトルをケミカルリサイクルにより PET ボトル商品に再利用するボトル to ボトルの取り組みについて、連携協定を締結いたしました。



（左）JEPLAN 代表取締役 執行役員社長：高尾 正樹 （中央）墨田区 区長：山本 亨氏 （右）アサヒ飲料 代表取締役社長：米女 太一氏

今回の連携協定は、墨田区が回収した全ての PET ボトルをペトリファインテクノロジーにてケミカルリサイクルにより PET 樹脂に再生し、アサヒ飲料の PET 商品に再利用することを目指すものです。ペトリファインテクノロジーでは、独自のケミカルリサイクル技術「BRING Technology™」を用いて石油由来の PET 樹脂と同等品質の原料に再生することで、ペットボトルの資源循環を実現し限りある資源の再利用と新たな石油資源の使用削減、CO₂排出削減につなげます。

本取り組みは 2024 年 4 月から開始し、1 年間で約 1,200 t の PET ボトルが再利用される見込みであり、ペットボトルの資源化率を高めるとともに、区民への環境教育や啓発活動等の連携も進めることでケミカルリサイクル技術を用いて繰り返しリサイクル可能なペットボトルの再生を実施していきます。

今後も JEPLAN グループでは「あらゆるものを循環させる」というビジョンの実現に向けて、引き続き国内外のパートナーとの連携を進め、グループ一丸となりサーキュラーエコノミーを牽引していくことに努めてまいります。

JEPLAN PRESS RELEASE

■ 東京都墨田区 (<https://www.city.sumida.lg.jp/>)

区長：山本 亨

■ アサヒ飲料株式会社 (<https://www.asahiinryo.co.jp>)

代表取締役社長：米女 太一

設立：1982年3月

事業内容：各種飲料水の製造、販売、自動販売機のオペレート、その他関連業務

■ 株式会社 JEPLAN (<https://www.jeplan.co.jp>)

代表取締役 執行役員社長：高尾 正樹

設立：2007年1月

主な事業内容：PET ケミカルリサイクル技術関連事業（対象：PET ボトル・ポリエステル）など

「あらゆるものを循環させる」をビジョンに掲げ、広くサプライチェーンに携わりながら、独自の PET ケミカルリサイクル技術「BRING Technology™」を用いたものづくり、事業開発や技術ライセンスの展開を推進することで、限りある資源の循環を実現し、CO₂の排出量削減に寄与しています。

独自のケミカルリサイクル技術と資源循環の仕組みづくりにより、不要な衣類を回収し「服から服をつくる」サーキュラーエコノミーを社会に実装するブランド「BRING」の運営や、自治体や企業との連携によりペットボトルを何度でも繰り返しリサイクルを実現する資源循環の事業に取り組んでいます。

資源循環を社会に実装するため、PET ケミカルリサイクルの商用プラントを北九州響灘と川崎（グループ会社：ペトリファインテクノロジー株式会社）の2拠点で運営しています。

■ JEPLAN グループが推進するボトル to ボトルのリサイクルに係る取り組み

JEPLAN は、日本全国のさまざまな地域と連携してボトル to ボトルのリサイクルに係る取り組みを推進しています。

役割を終えたモノがゴミにならず、価値ある資源として循環する社会を目指すため現在 23 の自治体とともにボトル to ボトルのリサイクルに取り組んでいます。

BRING BOTTLE SPOT : <https://bringbottlespot.jp/>



■ ペトリファインテクノロジー株式会社 (<https://www.prt.jp>)

代表取締役：伊賀 大悟

設立：2008年10月

事業内容：ケミカルリサイクル技術「BRING Technology™」を用いた使用済みペットボトルのリサイクル樹脂の製造・販売